

テーマ「子供と創る授業 ～小1 生活科 ひよこ～」



1 はじめに

「子供の『素敵さ』に魅了される」教師であってほしい。

2 単元の導入（入学直後 1年生）「みんななかよし ～ひよこ～」

(1) 何のために、「動物の世話」をするの？

目的の確認

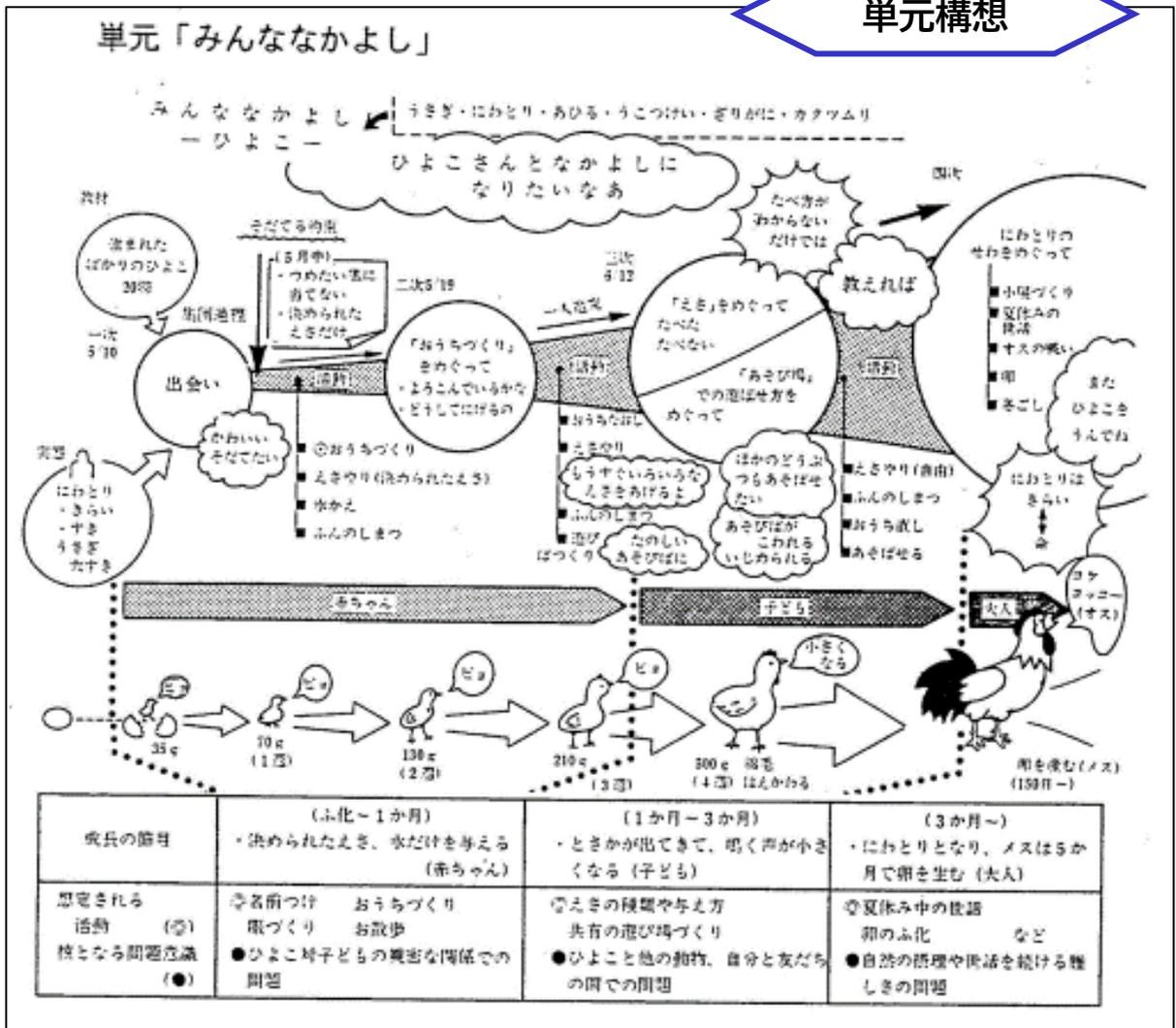
- ・空っぽの飼育小屋を見つけた子供たち
- C「汚い仕事もちゃんとやる」「自分たちで生き物を飼いたい」
- 子供が自分たちで決めた
- 校長先生に許可を得て、単元スタート

(2) 何を育てるか？

教材を選ぶ

- ・「嫌い」から始めるのは大変！『赤ちゃん』から育てることにしよう、という教師の思い
- ・「うさぎ」より「ひよこ」
- （成長の変化があるだけでなく、「にわとりは、きれい」と言っていた子供の飼育活動による心の変化を、子供自身が自覚できる）

単元構想



(3) ひよことの出会い

- T (段ボールに入れたひよこをそっと教室へもってきた)
ひよこが「ぴよ」と鳴く
- C 子供が「わー」と集まってくる
(段ボールの底が抜け、ひよこが一斉に逃げ出した)
ひよこを追いかける子供たち

- T どうしたい？
- C 飼いたい！
- T 遊んでばかりで、餌をやらないのはだめだよ。
命を守らんなん。
新聞紙の取り換えも、やるのか？

C やる！

- T はじめの1か月間は、このつぶつぶの餌だけだよ。
守れる？

C 守れる！！



ねらいに迫るための約束

3 決まった餌で世話をしてきた1か月後の話し合い

【話し合い2：「初めての餌やり」 直後の話し合い6/1】

- ・ S1：食べた，食べた。今までの餌とキャベツを混ぜたら食べてくれたよ。うれしかった！
- ・ W1：ゆで卵はひよこと同じだから食べないはずだって，T君は言ってたけど，お母さんが言っていた通りちゃんと食べたよ。
- ・ U1：コーヒーゼリーをあげたのね。僕が大好きなのに，ぴっちゃんは食べてくれなかった。
- ・ W2：今，おなかがすいていないんじゃないの。きっと，お昼になったら食べるよ。

(1) SI 児の発言より

T 「たべた」「キャベツ」と板書

→ SI は板書を見て、

うれしい顔はしなかった。

→ SI が伝えたいことは、

「キャベツたべた」ということではなかった。

子供理解

Q1 この子供 (SI) は、一体、何を伝えなかったのか？

こんな思いだったのでは？

SI 「キャベツは餌」だって分かるかな？
つぶつぶの餌と混ぜたら、どうなるかな？

例えば、こんな教師の声かけもできる

T キャベツは、大きいままでいいんじゃないの？

SI ダメ！細かくないと！！

T そうか。作戦、成功だね！！

子供の思いを認め、その子供のよさを周りの子供にも分かるようにすることが大切

(2) WI 児の発言より

<前時>

WI お母さんが『ゆで卵も食べるだろう』といていたから食べると思う。

T 児 「ゆで卵はひよこと同じ」だから食べないはずだ。

兄弟で食べているのと同じだ (笑う)

(WI の母がゆで卵をもたせる)

→ 初めての餌やりで、WI はゆで卵をひよこに与えた。

ひよこがゆで卵を食べた。

<本時>

WI ゆで卵はひよこと同じだから食べないはずだって、T 君は言ってたけど、お母さんが言っていた通りちゃーんと食べたよ。

Q2 この子供 (WI) に、何と声をかけるか？

例えば、こんな教師の声かけもできる

T お母さんの言う通りだったね。
すごいお母さんだね！

(3) W2 児の発言より

U1 コーヒーゼリーをあげたのね。

僕が大好きなのに、ぴっちゃんは食べてくれなかった。

W2 今、おなかすいていないんじゃないの。きっと、お昼になったら食べるよ。

Q3 この子供 (W2) の発言の裏に「素敵さ」が2つある。何か？

広げたい子供の素敵

◎「おなかすいたら食べるだろう」と推論していること

◎困っている友達をなぐさめていること
仲間の気持ちを押し量りながら

例えば、こんな教師の声かけもできる

T W2さんすてきやね。

友達のこと考えているんだね。

その子供の「素敵」を認め、その「素敵」をみんなに広める

・ Y1：パンとキャベツを混ぜたのに、ピピはパンをあまり食べてくれなかったからちょっと残念です。せっかく作ったのに・・・。

・ 教5：それでどうしようと思うの？

・ Y2：でも、わたし・・・食べ方を教えてあげれば良いと思うよ。「好ききらいしたら駄目だよ」って、ピピちゃんに教えてあげるの。だって、私赤ちゃんの時6カ月ぐらいではじめてご飯を食べたのね。ピピちゃんもまだ6カ月ぐらいの赤ちゃんだと思うから。

◎自分の経験とつないで
考えている子供たち

- ・ K1：でも、ひよこさんは、みんなより小さいよ。
- ・ W3：赤ちゃんだから小さいんだよ。僕も、**保育園を作っているいろんなことを教えたらいい**と思うよ。たけしも水とか餌とかをこぼしていたから・・・、やっぱり教えたらいい。
- ・ M1：ひよこさんは、言うことを聞かないと思う。
- ・ W4：言うことを聞かないから、**保育園を作って**みんなで教えるんだよ。
- ・ U2：そうだよ。そして**学校へ入れればいい**んだよ。
- ・ (C：賛成、賛成！早く教えたい。〈全員挙手〉)

- ★ 今を本気で生きている子供たち。「本気でやったら、聴いてくれる先生、聴いてくれる仲間がいる」と、子供が思えるように。
- ★ 子供の伝えたいことを理解しようとする教師の資質も大切。
- ★ うまく表現できない子供の発言であっても、裏にある子供の思いを受け止め、子供の成長を捉え、「素敵」と思える教師であってほしい。
- ★ 子供は、教師を信じ、「楽しい仲間と、毎日どんどんでできるようになることを楽しみたい」と思っている。子供と楽しい学校生活を、教師も楽しもう。心、体も健康で。怒ってばかりではだめ。
- ★ 年に1つぐらいは、思い切って考えた（長期に取り組むような）授業に取り組もう。そんな授業で子供も幸せになり、大きく成長できる。